

## 予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：労働費 項：労政費 目：雇用促進費

### 事業名 オール岐阜・企業フェス開催事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 産業人材課 産学金官連携係 電話番号：058-272-1111(内3684)

E-mail：c11369@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 25,667 千円 (前年度予算額：25,667 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	25,667	12,530	0	0	0	0	0	0	13,137
要求額	25,667	12,530	0	0	0	0	0	0	13,137
決定額	25,667	12,530	0	0	0	0	0	0	13,137

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

中小企業が多い県内企業にとって、人材の確保が喫緊の課題となっている。そのため、平成27年9月に産業界・大学・金融機関・県が一丸となって、県内企業の人材育成・確保・定着を支援し、地域経済の活性化を図ることを目的とした「産学金官連携人材育成・定着プロジェクト推進協議会」を設立し、各種事業を展開している。

県内企業の人材確保のためには、県内大学への進学者を、県内企業への就職に繋げるとともに、県外に進学した若者の県内への呼び戻しと県外出身者の県内企業への呼び込みを積極的に行い、より早い段階から県内企業の魅力PRと理解促進の機会を提供していくことが求められている。

### (2) 事業内容

協議会に参画する企業を中心に、県下最大規模の企業及び学生・生徒が参加する「オール岐阜・企業フェス」を開催し、県内企業の魅力発信機会を創出する。また、参加者を高校生のみ限定した「高校生の日」を別日に設ける。

開催時期：令和6年11月から令和7年3月までの間で4～5日間ほど

※「高校生の日」は、2～3日ほど

開催方法：対面とWEBを組み合わせ開催

出展企業：県内企業400社程度を想定

※「高校生の日」は県内企業200社程度を想定

対象者：県内外の大学生、短大生等 ※「高校生の日」は県内の高校生等

### (3) 県負担・補助率の考え方

多数の県内企業と学生・生徒が会う場を提供することは、県内企業全体の課題としての人材確保に対応するためであり、県負担は妥当

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	32	プロポーザル評価委員謝金
旅費	175	費用弁償、業務旅費等
需用費	166	消耗品費、会議費
役務費	184	通信運搬費
使用料及び貸借料	50	会場使用料、ETC使用料等
委託料	25,060	オール岐阜・企業フェス開催事業
合計	25,667	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創生総合戦略
  - Ⅱ 政策の方向性 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
    - (2)次世代を見据えた産業の振興 ①産業を支える人材の育成・確保
- 岐阜県経済・雇用再生戦略
  - (3) 人材確保・雇用対策プロジェクト
    - <若者の県内就職促進>
    - (4) 若者のUターン就職・転職促進

### (2) 事業主体及びその妥当性

産学官連携人材育成・定着プロジェクトは、県内企業の人材確保、人材の県外流出を防止するため、産業界・大学・金融機関・県が一丸となって取り組むものであり、プロジェクトを効果的に推進するため、県が実施することは妥当。

# 事業評価調査（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内企業への就職を促進するため、県内外の大学生及び県内高校生等の県内企業に対する理解を深める。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①出展企業数		454	600	600		113.5%
②訪問者数		2,020	2,200	2,200		84.2%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和3年度	<p>&lt;取組内容&gt; 令和4年1月20日～3月18日開催（オンライン） 出展企業数：309社（商工211、福祉37、土木61） 登録者：457人（大学生203、高校生64、保護者等190）</p> <p>&lt;成果&gt; 2年連続のオンライン開催となったが、指標としては全体的に令和2年度を下回る結果となった。企業からの希望を踏まえ、令和4年度は対面開催とした。今後もより効果的な事業となるよう見直しを行っていく。</p>
	<p>指標① 目標：<u>400</u> 実績：<u>309</u> 達成率：<u>77.3</u> % 指標② 目標：<u>100,000</u> 実績：<u>67,078</u> 達成率：<u>67.1</u> %</p>
令和4年度	<p>&lt;取組内容&gt; 【一般の日】令和5年2月21日～2月24日開催（対面とWEB） 出展企業数：367社 来場者数：1,710人 【高校生の日】令和5年3月11日（対面とWEB） 出展企業：87社 来場者数：310人</p> <p>&lt;成果&gt; オンライン要素を組み合わせ、3年ぶりに対面開催とした。また、企業からの要望に応え、県内の高校生のみを対象とした「高校生の日」を別日で開催したところ、出展需要が高かった。今後もより効果的な事業となるよう見直しを行っていく。</p>
	<p>指標① 目標：<u>400</u> 実績：<u>454</u> 達成率：<u>113.5</u> % 指標② 目標：<u>2,400</u> 実績：<u>2,020</u> 達成率：<u>84.2</u> %</p>
令和5年度	<p style="color: red;">令和7年度当初予算にて追加</p>
	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>県内企業の人材確保、人材の流出防止のため、効果的に企業の魅力を発信することができる本事業の必要性は高い。</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>イベントを通じた魅力発信に対する企業の期待も高く、事業へのニーズは高い。また、大学、高校等とも連携し、多くの学生・生徒の参加も見込まれるなど、企業研究の場として有効性は高い。</p>
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価) 2	<p>産学官連携人材育成・定着プロジェクト推進協議会や大学、教育委員会、高校と連携して周知広報を図るなど、効率的・効果的に実施している。</p>

### (今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 大学生の就職活動を取り巻く環境が変化しており、より効果的、効率的な事業となるよう、開催方法、開催時期、内容等について、随時検討する必要がある。</p>
--

### (次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内企業の事業に対する期待は大きく、また、県内高校からも企業研究の機会提供ニーズが高まっている。そのため、特により多くの高校の参加を促し、事業の効果拡大を図るとともに、企業のPR機会を確保していく。</p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	<p>福祉の仕事就職フェア 【地域福祉課】 オール岐阜・企業フェス開催事業 【技術検査課】</p>
<p>組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など</p>	<p>実施費用の削減が図れるとともに、大規模化による集客拡大が期待できる。</p>